

# 月信

# GOVERNOR'S

# MONTHLY REPORT

ガバナー

Rotary International District 2630 2019-2020

# 3

## CONTENTS

- 2019-20年度 ガバナー 辻 正敏 メッセージ  
水と衛生月間 ..... P2
- 奉仕プロジェクト  
奉仕プロジェクト部門委員会 委員長 篠原 一行 ..... P3
- 青少年交換事業について  
青少年交換委員会 委員長 永尾 壽啓 ..... P4
- 活動事業報告  
津北ロータリークラブ創立50周年 ..... P5
- 米山奨学生選考会 ..... P6

- 活動事業報告  
青少年交換委員会報告 ..... P7  
インドにおけるボリオ根絶ボランティア ..... P7~8  
ハイライトよねやま ..... P9
- 1月度会員数報告 ..... P10
- 会員動静報告 ..... P11
- 國際協議会報告・各事務所の案内 ..... P12

March 2020  
Vol.9

国際ロータリー 第2630地区  
2019-2020年度  
ガバナー 辻 正敏



# Message



## 水と衛生月間

2019-2020年度 国際ロータリー 第2630地区 ガバナー

### 辻 正敏

今月は「水と衛生」月間です。水のことを考えてみましょう。

人間の体はほとんどが水で出来ています。なんと、生まれたばかりの赤ちゃんだと体重の約75%、子どもで約70%、男女や年齢の違いはありますが、大人の男の場合、約60%が水なのです。…

そんなにたくさんの水が体のどこにあるのでしょうか。人間の体は、細胞という小さなものが100兆個以上集まってできています。体内の水分のうち、約3分の2は、この細胞の中になります。残りの3分の1は、細胞と細胞の間にある細胞間液という液体と血液にあり、すべての水が命を保つために働いています。人間は水と睡眠さえしっかりといつては、たとえ食べ物がなくても2~3週間は生きていられると言われています。しかし、水を全然取らなければ、4~5日で死んでしまいます。

(以上、サントリーサンタリーワークス「水育」より)

このように水は人間が生きていく上で、なくてはならないものです。もし、水があっても飲めない水だったらどうしますか。汚れた、身体に悪い影響を及ぼす水だったら。特に幼い子どもたちにとっては感染症を引き起こしたり、下痢などで命を落とすことも少なくありません。

清潔で安全な水を得るには、井戸などの給水設備や飲み水として安全な水のための衛生設備が必要です。ロータリーは井戸を掘るだけではなく、安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し子供たちの未来を考えています。

ユニセフのデータでは、2017年、安全に管理された飲み水を使用できない人々は22億人、このうち1億4,400万人は湖や川、用水路など未処理の水を使用しています。また42億人が、安全に管理されたトイレを使用できません。このうち、6億7,300万人以上は、家や近所に利用できるトイレがなく、道端や草むらなど、屋外で用を足す屋外排泄を行っていると言います。30億人が、石けんや水が備わった基本的な手洗い設備が自宅にない環境で暮らしていると言われています。

ロータリーは、安全な水と衛生設備の利用は、すべての人が持つべき権利としています。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えない辛い境遇を強いられています。何とか改善しなければなりません。一人に安全な水を提供するのに必要なコストは24ドル、USAID(米国国際開発庁)と提携することで、ガーナでは110の学校が、質の高い衛生設備が出来るようになりました。そして安全な水と衛生設備をすべての人が利用できるよう、ロータリーは財団補助金やロータリークラブの募金活動を基に目標達成を2030年と掲げて活動しています。

ぜひ皆さんも「水と衛生」月間にあたり、水の大切さを再認識し、衛生的な水がどこでも手に入ることを幸せと受け止め、世界中の水に恵まれない子供たちのために何か行動を始めていただければ幸いです。



## 奉仕プロジェクト

奉仕プロジェクト部門委員会  
委員長

**篠原 一行**

地区奉仕プロジェクト部門は世界で良いことをしようと、社会奉仕委員会が地域で、国際奉仕委員会が海外であるいは国内にいる外国人に対して、色々な奉仕活動をするように地区内各クラブに勧めることです。各クラブの例会の卓話にお招き頂いてお話をさせて頂いたり、地区協研修会・分科会で、専門委員の方々たちに出席して頂いて、事例の発表をしたりしてお勧めしています。現在、地区内数々のクラブで地域にそして海外へと奉仕の志を実践して頂いております。

社会奉仕委員会は、各クラブが行っている広い意味での社会奉仕活動を、社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕・青少年奉仕と垣根なくまとめて報告しています。こんな奉仕活動もあるんですよめずらしい奉仕活動もご紹介しています。またここ数年は環境意識高揚のために、水の調査や車の調査なども行っています。

国際奉仕委員会は、地区内各クラブが取り組んでいる、また取り組もうとする国際奉仕活動に資金が必要な場合、その内容を聞き取り、それに見合った手法や補助金などのアドバイスもさせて頂いています。たとえば、クラブから奉仕活動を行うにあたってご相談して頂ければ、私たちが地区財団部門と連携を取り、財団部門が行う各種補助金をスムーズに使えるよう道を開くお手伝いもしています。また従来通りの使い勝手の大変良い「世界社会奉仕補助金(WCS)」もお勧めしています。

クラブが行う地域的奉仕活動には社会奉仕委員会が「地区補助金」についてお手伝いし、そして大きな国際的支援活動には「グローバル補助金」活動として実践へのお手伝いをしております。クラブが行おうとする奉仕活動を、私たち奉仕プロジェ

クト部門が情報をキャッチし地区財団部門と協議し、積極的に補助金制度の活用を進めていけば、この第2630地区からより質の高い奉仕活動ができると確信しております。

未来の夢計画後、人道的分野でグローバル補助金を利用した活動はあまり行われてきませんでした。奉仕プロジェクト部門は、財団部門のご協力を頂いて、グローバル補助金事業をいくつか実践してまいりました。水と衛生分野・基本的教育と識字率向上分野・疾病予防と治療分野などです。奉仕プロジェクト部門が実際に体験して多くを知っているなければ、地区内各クラブに詳細な説明をしてお勧めすることはできません。グローバル補助金プロジェクト事業の活動内容や、完成した時の地域住民との喜び等、皆様にその詳細な手法や経過や結果等を、各クラブへの卓話訪問や地区協研修会・分科会や財団部門のセミナーなどで、お勧めのお話を重ねてまいりました。おかげで手を挙げて実施するクラブがいくつか出来たことを大変嬉しく思います。そして相手国ロータリアンとの交流を深めてきたおかげでオファーも頂いています。クラブ単独でもいくつかのクラブ共同でもグループでも良いです。地区委員会にご相談して下さい。

奉仕プロジェクト部門の何よりも大切なことは「全ての地区内クラブ会員がロータリーの一員であることに誇りを持ち、ロータリー旗の下で地域・海外で奉仕プロジェクト活動を実践し、結果として現地の人々と共に自らが起こした活動の完成を、共に喜び合うことに参加できること」それら一連の活動を追い求める行動こそが、ロータリーのまたは第2630地区のステータスあるいは理念・理想であると考えます。

ロータリーの奉仕プロジェクトは、社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕・青少年奉仕等に境界を意識せず、何処にでも誰にでも奉仕のために駆けつけることが望ましい姿ではないでしょうか。皆さん方の愛を地域に世界に発信して下さい。地区奉仕プロジェクト部門がお手伝い致します。

# Message



## 青少年交換 事業について

青少年交換委員会 委員長

**永尾 壽啓**

月信担当の方より原稿依頼を受けた時が、2020年1月の春期受入学生が来日する時期であり、今回はこの原稿の中で来日学生の受入手続きについて話をしたと思います。

受入準備の対応は、クラブ内の青少年奉仕委員会の委員長が中心とならなければなりません。春期受入と夏期受入の2形態ありますが、行う事は同じで着手する時期が早いか遅いかの違いとなります。

それでは、委員会の最初の仕事として行うことは、受入高校の決定です。派遣学生が在籍する高校に依頼するのが最優先です、しかし私は、それにこだわることなく最適な高校を選考することを考慮すべきだと思います。例えば、既に受入学生が在籍する、海外留学担当の先生がお見えになる、海外高校と交流があるというところがポイントのような気がします。

次に、ホストファミリーです、4軒は準備できたほうが安心できるかと思います。4軒ともロータリアンである必要はありません。特に第1ホストファミリーは期間が短くても留学経験者がお見えになるご家庭がいいと思います。

次に、具体的に受入高校とクラブ内での手続きは、以下のように対応をお願いします。

1. 地区から届いた、受入学生の書類一式を高校に持参して、就学許可を依頼する。
2. 就学許可を取得したら、クラブ関係者(会長、幹事、委員会)一同で校長先生に表敬訪問する。
3. 実務者レベルの打合せ会議を行う。(何年生に編入、担任先生、留学生担当先生、制服・体操服・Yシャツなどの新品・リユーズ品確認、教科書・ディバッグ・体育館シーツなどの購入品確認)
4. 来日直前に改めて、顔合わせ日と登校日と時間の決定等の最終確認を行う。

### クラブ内の準備としては、来日前までに

1. ホストファミリー、カウンセラーの選定。
2. 地区青少年交換委員会へ関係書類の提出。
3. ホストファミリー会を実施してホストファミリー(特に奥様)とクラブ関係者との意識統一。
4. 来日学生、先方スポンサークラブへ自クラブ、ホストファミリー紹介メールの送信(意外と重要)。
5. セントレア空港で使用するウェルカムカードの作成。

### 来日学生が到着すると

1. クラブ関係者(会長、幹事、委員会、カウンセラー、第1HF)でウェルカムカードを持って出迎え、記念撮影。
2. 到着日はそのままホストファミリー宅に直帰して簡単なお祝い。(パスポート、在留カード、お金、クレジットカード、帰りの航空券を確認)
3. 翌日、市役所に出向き、転入届の提出と国民保健証の作成。(無収入個人世帯)
4. 学生証用の写真撮影、学校で使用する備品等(下履き)の購入。
5. クラブ例会で会員への挨拶と事務局に貴重品の預け入れ。(パスポート、お金)
6. 受入高校への挨拶と学生証の発行依頼。
7. 公共交通機関を使用する場合の定期券の購入。
8. 通学手順の確認と初回登下校の同伴。
9. 携帯電話の確認、日本で使用できるようになっているかどうか等。(携帯電話の対応方法は色々ありますのでここでは割愛します)  
このような形で、慌ただしく、来日当日を迎え、受入学生が学校に初登校する日がやってくると言った感じです。

実は、春期受入はいいことがあります。第1に、これから出国する日本の学生には非常にいい刺激になります。受入学生が自分の家にホームステイすることになれば、自分の英語力の確認、留学先での自分の立ち回り方、意思の表現の仕方などが事前に吸収できます。(派遣するご両親が一番安心できます)

今回は、青少年交換事業の受入について、具体的にホストクラブとなるクラブ内での事務手続きを話させていただきました。大変と言えば大変、しかしなんだ! これだけの事務手続きだけでOKなのかと言えばOKです。その後の学生の成長は学生次第です。強い意志があれば自ら語学・習慣・文化の習得に励むし、旅行気分でやってくるのであればそれまでの事。(地区としての指導は行います)しかし両者とも日本という国を選択して留学を志し、日本で1年間の生活を行い、最終的には自国と日本の友好の礎となり、世界平和の懸け橋となる人材を育て上げると言う目的には到着できると信じています。

1月に3人、8月にも4人の受入、そして6名の学生が海外に旅立っていきます。どうぞこの事業に関与が有る無し関係なくロータリアンの皆様方には、内外の学生に温かい声援を送っていただきたいと思います。

さて、月信の本来の趣旨であれば、青少年交換事業の雄大さ、将来性、国際性を広義に、狭義にお話しするところではありますが、今回は、事業の愚直な面をお話しさせていただきました。どうぞ、ご理解を頂き、青少年交換事業に益々のご支援、ご参加を願う次第であります。

## 津北ロータリークラブ創立50周年

去る1月26日(日)、津北RCの創立50周年記念式典が、津駅前のホテルグリーンパーク津を会場に、三重県知事鈴木英敬様、津市長前葉泰幸様、国際ロータリー第2630地区ガバナー辻正敏様をはじめとして、パストガバナー田山雅敏様、地区ガバナー補佐松田英明様、地区役員の皆様、地区内各クラブの会長・幹事の皆様、津北RCの発展に大いにご尽力を頂いた元会員の皆様、会員令夫人の皆様、それに現会員52名を加えた総勢90名で開催されました。

第1部の式典では、記念事業として、三重大学病院で小児がんと闘う子どもたちを応援するために100万円を贈呈し、またそれを受け三重大学大学院医学系研究科小児科学教授の平山雅浩先生に「三重大学における小児がん診療の取り組み」と題して記念講演を行っていただきました。

第2部の祝賀会では、三重大学応援団のプラス&チアリーダー達が華々しくオープニングを飾り、楽しい祝賀の宴が繰り広げられました。



# 活動事業報告

## 米山奨学生選考会

米山記念奨学委員会 委員長 村瀬 祐治

### ●次期米山奨学生面接選考会開催(奨学期間2020年4月～2021年3月)

面接選考会は1月18日19日の2日間開催いたしました。4月からの当地区の奨学生は19名であり寄付額により三重地区大学8名(内継続1名)岐阜地区大学11名(内継続2名)と決定し、新規奨学生16名を選考いたしました。

面接基準は、『米山奨学事業の使命は、将来、日本と母国との懸け橋となる優秀な人材を育成することであるためその資質がある留学生を、全国共通の評価項目にしたがって、総合的に判断し、公平に選考いたしました。』

<学業> 学問に対する研究の目的一目標が明確で、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をしている。

<異文化理解> 異なる文化・習慣などを理解する努力ができる。

<コミュニケーション能力> 言語のみならず人間関係における円滑なコミュニケーションを築き自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

### ●国籍別の内訳は

(中国-4名)(韓国-3名)(ベトナム-2名)(内モンゴル自治区-2名)以下各1名(ネパール)・(スリランカ)・(カンボジア)・(エジプト)・(インドネシア)・(タイ)(香港)(ミャンマー)19名です。

大学は、三重大学・四日市大学・鈴鹿大学・岐阜大学・中部学院大学・中京学院大学・朝日大学・岐阜協立大学の8校から選考いたしました。

### ●世話クラブについて(5年間に1回世話クラブを受けて頂く)

2019年11月3日「次期米山奨学生世話クラブ受入説明会」を開催し クラブ会長・クラブ幹事に集まって頂きカウンセラーの役割など準備態勢について説明会を開催いたしました。おかげさまで 世話クラブの選考がスムーズに進めることができました。

(桑名西)(四日市)(四日市南)(亀山)(津南)(尾鷲)(松阪山桜)(伊勢度会)(岐阜)(岐阜中)(岐阜エトス)(大垣)(大垣センチュリー)(不破)(羽島)(各務原)(恵那)(関中央)(高山西)の19RCに受けていただきました。

### ●奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会・歓迎会の開催について

4月5日名古屋ホテルにて、奨学生に米山記念奨学についてのオリエンテーションを行い、事業を理解して頂き「確約書」に自筆サインされた方が米山記念奨学生となります。

その後 世話クラブカウンセラーと面談して5月～翌年3月までクラブ例会訪問(11回)いたします。奨学生の役割としては、他クラブ卓話訪問・地区米山事業に参加して頂きます。またインターラク特部がある高校に部活訪問して交流をいたします。(新事業)



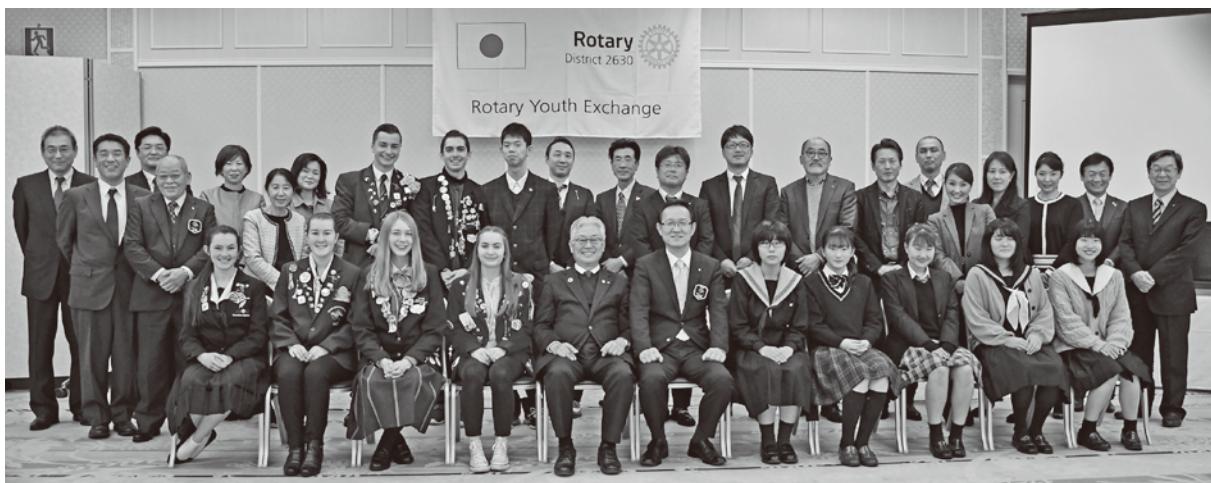
## ■ 青少年交換委員会報告

青少年交換委員会 委員長 永尾 壽啓

1月26日、今年の1月にオセアニア地方から来日した学生3名と追加合格をした派遣候補生2名を加えた合計12名の派遣学生・来日学生のオリエンテーションを行いました。

今回、来日した学生の中には、かなり日本語を学習している人もいてかなり引き締まった感じのオリエンテーションとなりました。来日学生6人には有意義な日本での学生生活を送っていただきたいと思います。

また、これから派遣されていく日本の学生は、来日学生の姿を見て、更に英語力を向上させてほしいと思います。楽しい1年が始まりました。



## ■ インドにおけるポリオ根絶ボランティア

ポリオプラス小委員会 委員長 故金 正司

1月17日～22日までインドデリー市内でのポリオ根絶運動のボランティア活動に参加して参りました。初日18日はワクチン投与活動宣伝のパレード、午後はポリオ治療拠点施設病院の見学。19日はマディプール地区にてグループに分かれ広場にて投与活動。20日はラフバーナガル地区での戸別訪問による投与活動と忙しい毎日でした。病院施設でのポリオ感染患者さんと対面、治療の苦難にも負けず明るく元気な人達でした。これも担当医の治療成果と力強い支えがありと直感するところでした。

又、地域の衛生環境は悪く、トイレ事情、野良犬の多さ(歩道は糞でいっぱい)公園や道路はゴミがいっぱい、清掃の習慣がないのでしょうか。コロナウイルスなどの感染症には極めて危険な環境であり、衛生環境の改善の必要性を強く感じました。このワクチン投与の企画は20年前より青森のロータリークラブを中心にポリオチームジャパンで始まりました。お世話役の旅行社(株)ハンドメイドの永田社長の素晴らしいサポートに感激致しました。そして関係、松本両ドクターのサポートにも重ねて感謝申し上げる次第です。この体験より学びは大きく約250人の子供達へのワクチン投与を行いましたが生命にかかるポリオワクチン投与はロータリアンの一人として末永く継続することを子供達に誓い、帰国の途についてご報告致します。

# 活動事業報告



ポリオプラス小委員会 委員 河地 勝彦

ポリオ根絶で自分たちにも出来ることはと思い、「百聞は一見にしかず」今年の1月に青森弘前アップルRCの関場医師がチームリーダーを務める、チームポリオジャパンとして、私はFinal Inchに迫ったポリオ根絶活動の現場を見るため、インドへ行って参りました。NID活動に参加するためです。NIDとは National Immunization Day 全国免疫接種日=全国一斉ポリオワクチン投与のことです。

あまり広くは知られてはいませんが、ロータリーはポリオ根絶活動に対して資金提供に留まらず、世界各地で実施されているポリオワクチン一斉投与のボランティアとして、世界各国から多くのロータリアンが参加しています。

今回1月19、20日にインドで行われたNID活動に、日本からチームポリオジャパンとして総勢50名が参加し、インドの1億7,000万人の5歳以下の子供たちへポリオワクチン一斉投与を行うNIDの一翼を担いました。現地では「Keep India Polio Free」の合言葉で「ポリオないインドを保とう」とキャンペーンを展開していました。

ポリオワクチンは注射器でなく経口投与なので、医師の資格がなくても投与が可能です。私も、200人を超える子どもたちに2滴ずつのポリオワクチンを投与してまいりました。

インドでは年間3万人以上だったポリオ患者数が、2014年に根絶されました。近年発症例は確認されていませんが隣国パキスタン、アフガンからの侵入が考えられます。世界からポリオの根絶のゴールまで、目標達成まで本当にもう少しです。End Polio Now !





# ハイライトよねやま

Vol.239

2020年2月14日  
発行

## 1. 新型コロナウイルスについて

中国・湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の感染が拡大しています。当会では1月29日、本年度の米山奨学生に宛てた注意喚起をホームページに掲載するとともに、メールで同内容を配信し、正確な情報の確認と感染拡大を防ぐための注意を呼びかけました。また、旧正月を母国で過ごすためにすでに中国に一時帰国している奨学生や、今後の中国への出国届が出ている奨学生にも直接、あるいは世話クラブを通じて状況を確認しています。

「故郷の村の移動制限により動けない」、「日本へのフライトがキャンセルになり、いつ戻れるか見通しが立たない」など、現地で足止めされている奨学生からの報告も入っており、影響の長期化も懸念されます。2月13日には、湖北省に続いて、浙江省に滞在した外国人の入国拒否が始まるなど、本件をめぐる日本の状況も刻々と変化しています。当会では今後も情報収集に務め、地区と連携して、必要な対策を検討してまいります。

## 2. 上海米山学友会の支援活動と総会

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、上海米山学友会では会員から寄せられた義援金をもとに、相次いで支援活動を展開しています。まず1月25日には、N99型マスクを武漢協和病院へ寄贈。つづいて27日には、学友のつてで協力者を得て、次亜塩素酸消毒薬1トンを湖北省の2つの施設へ寄贈しました。28日には、日本製医療用マスクを購入し、湖北省の3病院へ送りました。このほか、倉敷RCおよび徳島RCから支援の打診を受け、中国国内で現状不足している物資や、支援を待っている病院を紹介するなど、日本からの支援の橋渡しも行っています。

上海を拠点とする学友たちにも新型コロナウイルス対策で仕事への影響が出ています  
ショウトクン  
が、焦徳思会長（2000-02／伊丹昆陽池RC）



学友会名を記載した支援物資

は、「どんなに忙しくても対応します。日本のロータリアンからの温かい気持ちがありがたい」と、話しています。

また、同学友会は1月11日（土）に上海市内で総会を開催し、学友49人をはじめとする計63人が参加。日本からは、齋藤直美理事長と、第2750地区米山奨学委員長の澤田尚史氏ご夫妻が参加しました。総会では、2019年度の学友会活動や会員数、収支状況が報告され、学友会へ貢献した5人が表彰されました。



### 当会HPの「奨学生・学友の窓口」ログイン方法を変更

2020年1月20日から、米山奨学生・学友が自分の住所などを更新したり、各種申請を行うページ「奨学生・学友の窓口」にログインの際、従来の「奨学生No.」に加え、本人が設定する「パスワード」が必要となりました。

### 3月に開催される海外米山学友会総会

◆ミヤンマー◆ 2020年3月21日（土）16:30～19:30／会場：Sein Lan So Pyay Garden／  
申込み：myanmargakuyu@gmail.com（締切2月15日）



# 国際ロータリー 第2630地区 会員数報告

2020年1月分

グループ	クラブ	例会数	会員数			期首からの増減		
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐 阜	4	80	0	83	0	6	3
	岐 阜 西	3	53	0	55	0	3	1
	岐 阜 長良川	3	49	0	50	0	1	0
	岐 阜 北	4	38	3	40	3	2	0
	岐 阜 中	2	28	1	30	1	3	1
	グループ計(5)		248	4	258	4	15	5
岐 阜 B	岐 阜 南	4	94	9	97	12	10	7
	岐 阜 東	4	49	2	51	2	4	2
	岐 阜 東 南	4	40	0	39	0	1	2
	岐 阜 加 納	4	76	3	77	3	4	3
	岐 阜 エ ト ス	3	19	2	22	2	3	0
	岐 阜 城	4	16	0	19	1	3	0
岐 阜 西 濃	グ ループ 計(6)		294	16	305	20	25	14
	大 垣	4	88	2	88	2	1	1
	大 垣 西	4	75	0	76	0	2	1
	本 巣	3	28	0	28	0	0	0
	羽 島	3	31	4	31	4	0	0
	不 破	3	31	0	30	0	0	1
	大 垣 中	2	53	0	53	0	0	0
	大垣センчуリー	3	54	3	57	3	4	1
	岐 阜 淡 墨	3	14	1	16	1	3	1
岐 阜 東 濃	岐 阜 サンリバー	3	17	3	18	4	1	0
	グ ループ 計(9)		391	13	397	14	11	5
	多 治 見	4	48	3	51	3	3	0
	中 津 川	4	70	2	76	2	6	0
	瑞 浪	4	59	1	59	1	1	1
東 海 北 陸 道	恵 那	2	50	1	50	1	0	0
	土 岐	3	41	1	41	1	0	0
	多 治 見 西	3	33	4	32	4	0	1
	中津川センター	2	47	1	55	1	9	1
	多治見リバーサイド	4	39	1	40	1	1	0
	グ ループ 計(8)		387	14	404	14	20	3
	美 濃	3	21	0	18	0	0	3
	各 務 原	2	25	1	24	1	0	1
濃 飛	関	3	50	2	50	2	0	0
	郡上八幡	2	38	0	37	0	1	2
	関 中 央	3	33	0	34	0	1	0
	郡上長良川	4	35	6	34	5	2	3
	各 務 原 中 央	3	25	2	24	2	0	1
	各 務 原 か か み の	3	9	2	9	2	0	0
	グ ループ 計(8)		236	13	230	12	4	10
	高 山	3	41	0	45	0	4	0
岐 阜 県合計(42)	下 呂	3	21	0	26	0	5	0
	高 山 西	4	40	1	40	2	2	2
	美 濃 加 茂	3	39	8	39	8	0	0
	可 児	3	31	1	35	1	4	0
	高 山 中 央	2	56	3	56	4	2	2
	グ ループ 計(6)		228	13	241	15	17	4

グループ	クラブ	例会数	会員数			期首からの増減		
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑 員	桑 名	3	41	0	40	0	0	1
	桑 名 西	4	36	0	36	0	1	1
	桑 名 中 央	3	31	1	30	1	0	1
	桑 名 北	3	31	8	30	8	0	1
	グ ループ 計(4)		139	9	136	9	1	4
	四 日 市	4	95	0	98	0	6	3
四 日 市	四 日 市 北	4	24	5	24	5	0	0
	四 日 市 西	4	72	4	71	4	0	1
	四 日 市 南	4	41	4	42	4	1	0
	四 日 市 東	3	39	0	39	0	1	1
	グ ループ 計(5)		271	13	274	13	8	5
	鈴 鹿	4	69	10	70	10	1	0
鈴 鹿・亀 山	鈴 鹿 西	3	39	7	38	7	0	1
	鈴 鹿 ベイ	31	12	0	13	0	1	0
	亀 山	3	12	0	15	0	3	0
	鈴 鹿 シティ	4	68	4	71	4	4	1
	グ ループ 計(5)		200	21	207	21	9	2
	津	4	63	0	66	0	7	4
中 勢・伊 賀	上 野	3	39	2	39	2	2	2
	名 張	3	34	2	33	2	2	3
	津 南	4	49	2	49	2	1	1
	津 北	4	49	4	52	4	4	1
	上 野 東	4	40	3	39	3	1	2
	久 居	3	27	1	28	1	1	0
松 阪	名 張 中 央	3	24	1	25	2	2	1
	グ ループ 計(8)		325	15	331	16	20	14
松 阪・東 紀 州	松 阪	4	77	0	78	0	3	2
	松 阪 東	3	61	10	62	10	1	0
	熊 野	3	33	5	33	5	0	0
	尾 鷲	4	14	2	13	2	0	1
	松 阪 山 桜	3	36	3	35	3	1	2
伊 勢・鳥 羽・志 摩	グ ループ 計(5)		221	20	221	20	5	5
	伊 勢	4	59	0	61	0	2	0
三 重 県合計(33)	鳥 羽	4	31	4	31	4	0	0
	伊 勢 南	4	45	3	47	4	2	0
	志 摩	4	49	12	49	12	1	1
	伊 勢 中 央	4	50	0	50	0	0	0
	伊 勢 度 会	3	15	4	15	4	0	0
	グ ループ 計(6)		249	23	253	24	5	1
三 重 県合計(33)			1,405	101	1,422	103	48	31
地区合計(75)			3,189	174	3,257	182	140	72

## ■2019年1月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
岐 阜 県合計(42)	83.52	1,757	1,805	69	48
三 重 県合計(33)	86.74	1,374	1,415	100	41
地区合計(75)	84.94	3,131	3,220	169	89

〈注〉グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

# 会員動静報告(敬称略)

Rotary 

2020年1月分

## 入会会員

岐阜西RC  石坂 将司 2020.1.27 入会 土地家屋調査士	岐阜西RC  中島 規行 2020.1.27 入会 社会保険労務士	岐阜南RC  山本 昌督 2020.1.9 入会 外科医	岐阜南RC  浮田 雅之 2020.1.16 入会 信託銀行	岐阜東RC  長尾 英樹 2020.1.7 入会 建築設計	岐阜エトスRC  兼松 賢司 2020.1.6 入会 老人福祉介護事業	岐阜城RC  青木 友里 2020.1.1 入会 行政書士	中津川IRC  木下 雅則 2020.1.23 入会 建設・不動産業
中津川IRC  丸山 大知 2020.1.23 入会 木材卸業	郡上長良川IRC  川島 伸弘 2020.1.15 入会 医療事務	高山西RC  野尻 陽子 2020.1.12 入会 ホテル・旅館業	高山中央RC  葛谷 嘉久 2020.1.20 入会 内科医	桑名西RC  森下 幸泰 2020.1.8 入会 経営コンサルタント	四日市東RC  後藤 幸治 2020.1.7 入会 仮設足場工事業	鈴鹿ペイIRC  大谷 航平 2020.1.30 入会 産業一般廃棄物処理業	津北RC  佐藤 伸夫 2020.1.9 入会 樹脂加工業
上野東RC  小川 真史 2020.1.23 入会 銀行	松阪RC  殿内 裕哉 2020.1.8 入会 情報処理サービス	松阪RC  世古 久也 2020.1.8 入会 店舗建築業					

## 逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岐阜RC  渡邊 東彦 1973.8.31 入会 2020.1.18 逝去 2000~2001 会長 米山功労者マルチブル、 PHFマルチブル
---

関RC  高木 守道 1996.1.13 入会 2003.12.31 退会 2010.7.3より 名譽会員として再度入会 2020.1.17 逝去 中日ドラゴンズ 元監督
--

この度、関RC様より高木守道様の逝去について報告がありました。  
誰もが知る方であり、過去にロータリアンであった後、名譽会員になられたと言う経緯により紹介させて頂きました。合掌。

地区代表幹事 井熊信行

## ●表紙



## 津市南西部を走るJR名松線

JR名松線は、起点松阪駅から津市美杉町にある終点伊勢奥津駅までの全長43.5kmを約1時間20分かけて走るJR東海のローカル鉄道です。車窓からは城下町を抜け田園の中を通り、谷あいの自然豊かな田舎へと移り変わる四季折々の美しい風景が望め、ゆったりした鉄道の旅を感じる路線です。

2009年10月8日の台風18号により甚大な被害を受け、家城～伊勢奥津間で列車は運休、バスによる代行運転となり、廃線の危機にありましたが、2016年3月26日、約6年半ぶりに全線復旧を果たしました。

もうすぐ復旧4周年となるJR名松線ですが、沿線に海を渡る蝶アサギマダラ飛来地や和紙の原料となるミツマタ群生地など新たな見所も加わり、観光路線として、ますます充実してまいりました。

●写真撮影:田邊三郎 会員(久居RC)

# 国際協議会報告

ガバナーエレクト **劔田 廣喜**

1月の19日から24日までガバナーになる為、アメリカ・サンディエゴの国際協議会で研修を受けて参りました。今回は1日短くそれだけにタイトなスケジュールでしたが大変充実した研修を受講できたというのが実感です。

RI会長エレクトのテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。一見すると解りやすい様な気がしますが、なかなか奥が深いとも言えます。RIテーマは、ビジョン声明と合致することと、ロータリー章典に謳ってありますので、ビジョン声明のキーワードはテークアクションですから、難しく考えず行動しようと考えてもいいと思います。

協議会で学んだことは、ロータリーの新しい戦略計画について、また戦略計画がロータリーの将来にもたらすインパクトについてでした。さらに、プロジェクト、補助金、世界でよいことを行う財団の力についてディスカッションを行いました。また日本から2名選ばれたローター・アクターと、会員増強、公共イメージ、変革のリーダーとなることに関するセッション(木曜日と金曜日)においてディスカッションをしました。このことは私にとって衝撃的で自分の頭の固さ、柔軟性のなさに、愕然としました。

協議会の1週間で、クラブに伝える主要なメッセージについて学び、クラブが目標を達成できるよう支援する方法について話し合いをしました。2020-21年度は、クラブの目標すべてをロータリークラブ・セントラルで設定できるようになりました。これに伴い、今年は印刷版のロータリー賞のパンフレットがありません。クラブは、ロータリークラブ・セントラルで、少なくとも51パーセントの目標を達成した場合、ロータリー賞を受賞することとなります。

ホルガー・クナーク会長エレクトより重要なメッセージを公式訪問で皆様にお伝えする様言われております。皆様といろんな会合でお会いすることを楽しみにしております。



## 2019-2020年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

### 地区事務所

〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16  
TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org

執務時間 9:30~17:30  
(土・日・祝日 休務)

### ガバナー事務所 地区大会事務所

〒514-0033 三重県津市丸之内29-14 津商工会議所4階  
TEL 059-221-2630(ガバナー事務所) TEL 059-221-2632(地区大会事務所)  
FAX 059-221-2631(共通) E-mail 1920@rid2630.org(ガバナー事務所)  
E-mail 1920taikai@rid2630.org(地区大会事務所)

執務時間 10:00~16:00  
(土・日・祝日 休務)